

問い合わせ先

第八管区海上保安本部 海洋情報部

専門官 五藤 公威

Tel:0773-75-7373(直通)

Tel:0773-76-4100(内線2510)



平成26年5月29日

八管区海上保安本部

## 「伊能図から現代の海図まで」 ～舞鶴港の1800年代から現代までの変遷～

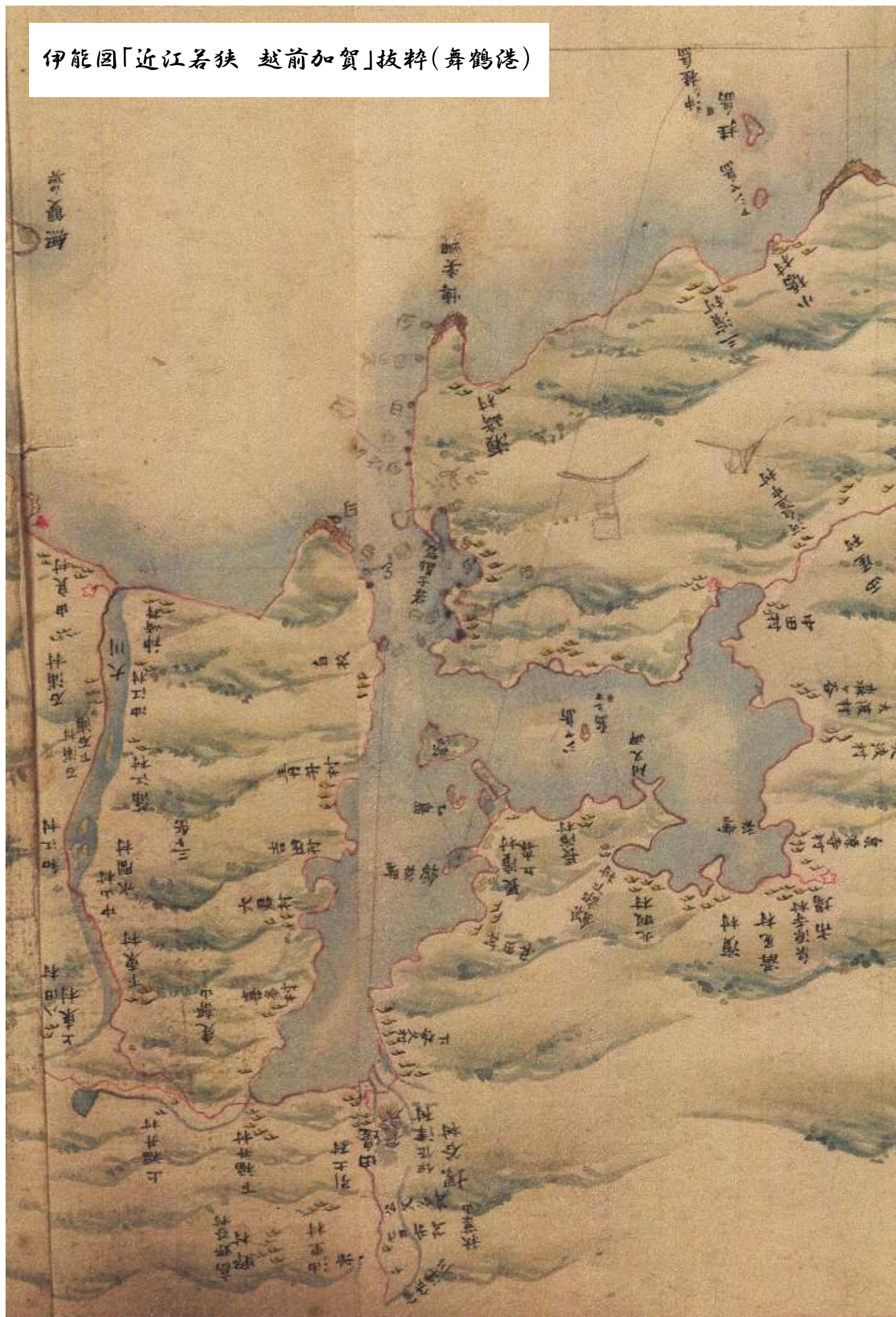
「海フェスタ京都」のパネル展示用に、19世紀初頭に伊能忠敬が行った日本全国の測量成果より作製された伊能図の謄写図「近江若狭越前加賀」抜粋（舞鶴港）から、明治20年（1887年）刊行した最初の海図「舞鶴港」、昭和13年（1938年）刊行の軍機海図「舞鶴港」、平成22年（2010年）刊行した現代の海図「舞鶴港」まで港の変遷が一目で分かるように作成しました。

### 伊能図・海図の紹介

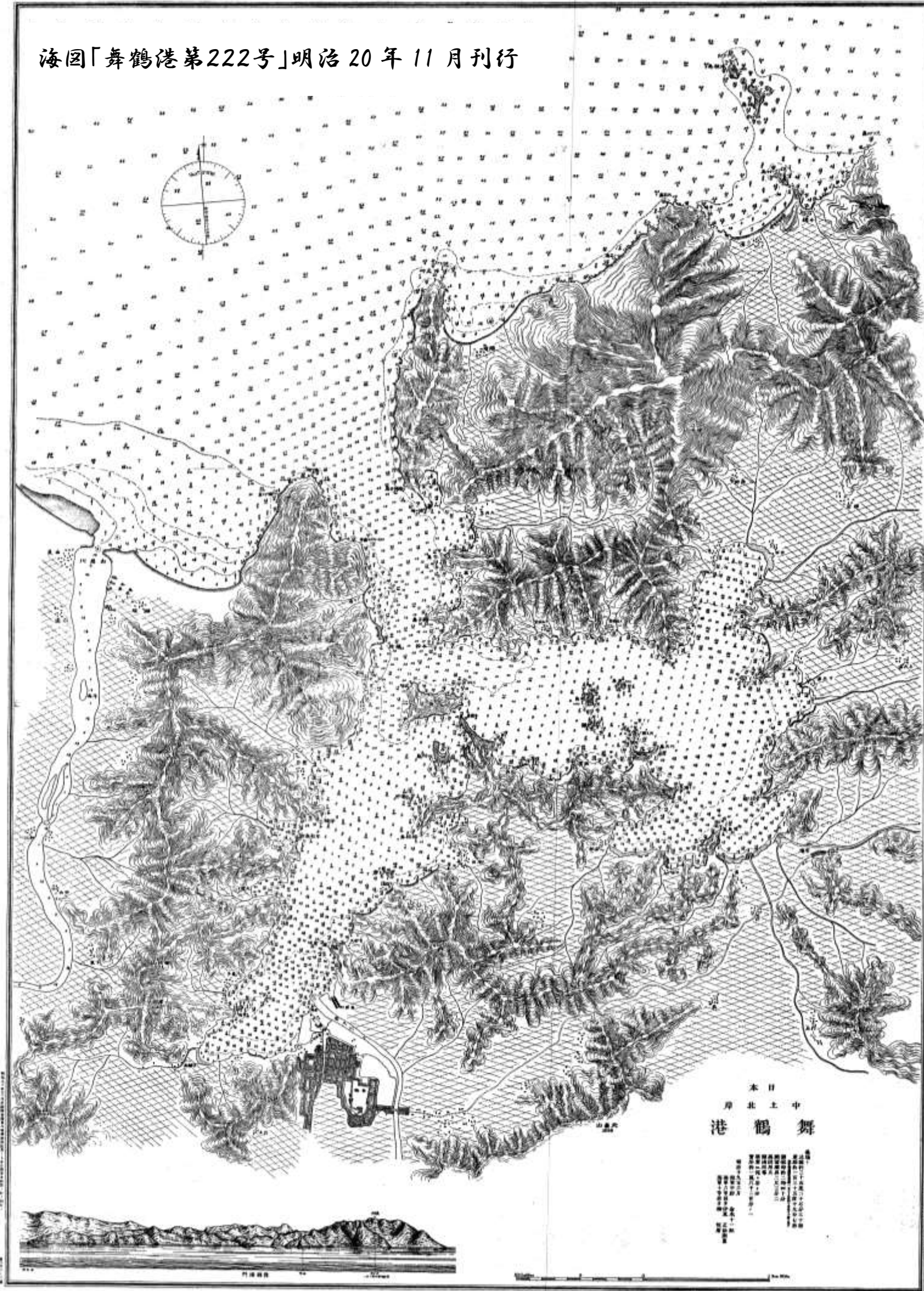
- ・伊能図謄写図（舞鶴が記載された「近江若狭 越前加賀」）  
※伊能図は、海から陸を見た様子に書かれており海図と違い地名等が反対に書かれている。
- ・舞鶴港の最初に刊行された海図「舞鶴港第222号」明治20年（1887年）11月刊行  
※江戸時代からの漢文表記に併せ右から左書きで表題等は表記されており、水深の単位は「尋（Fathoms）」（1尋（Fathoms）→1.82m）高さは尺（1尺→10/33m）で記載している。
- ・軍機海図「舞鶴港第292号」昭和13年（1938年）9月刊行  
※国際水路局「IHB」の決議により水深等の単位を「メートル」に変更している。また、表題を横書きの場合は左から右に変更している。
- ・現代の海図「舞鶴港W1167」平成22年（2010年）6月刊行  
※平成7年からデジタル編集による海図作製が始まっている。舞鶴港は平成15年11月刊行の海図からデジタルで編集され世界測地系対応の海図となっている。またローマ字表記については、訓令式（昭和12年内閣訓令第3号）から修正へボン式（昭和29年内閣告示第1号第2表）に平成11年7月より変更することとなり平成12年1月刊行の海図から変更している。



伊能圖「近江若狭 越前加賀」抜粹(舞鶴港)

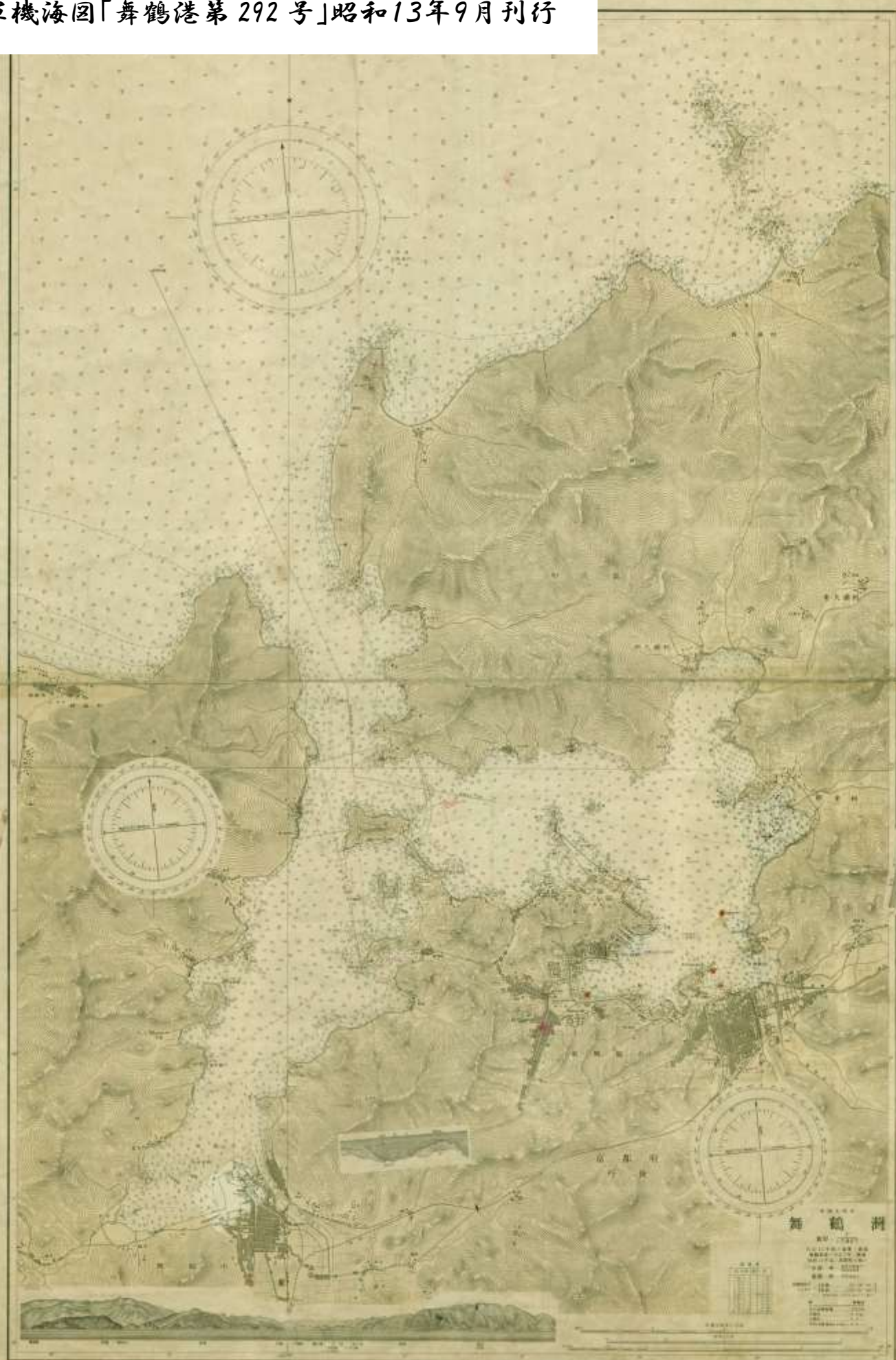


海図「舞鶴港第222号」明治20年11月刊行





軍機海図「舞鶴港第 292 号」昭和 13 年 9 月刊行



海図「舞鶴港 W1167」平成 22 年 6 月刊行

